



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
コード番号 3496 URL <https://azoom.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 菅田洋司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	12,265	26.4	2,151	26.6	2,144	26.7	1,529	26.8
2025年9月期第3四半期	9,706	28.2	1,698	35.4	1,692	35.0	1,205	41.0

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 1,540百万円 (28.5%) 2025年9月期第3四半期 1,198百万円 (40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	124.37	124.01
2025年9月期第3四半期	101.92	100.60

(注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,538	6,319	73.9
2025年9月期	8,894	6,831	76.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 6,312百万円 2025年9月期 6,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	212.00	212.00
2026年9月期	—	63.00	—		
2026年9月期（予想）				63.00	126.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年9月期及び2026年9月期（予想）の1株当たりの配当金は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	26.1	3,150	20.5	3,140	20.4	2,200	20.1	179.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	12,335,600株	2025年9月期	12,272,400株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	261株	2025年9月期	226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	12,298,529株	2025年9月期3Q	11,831,579株

- (注) 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気の緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、中東情勢の影響による景気の下振れがリスクとなっており、物価上昇の継続や金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

当社グループの経営環境としましては、遊休資産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきております。また、テクノロジーの進化により、駐車場の管理・運営方法も変わってきており、駐車場業務のデジタル化が進んでおります。

ビジュアライゼーション事業においては、企業の設備投資の持ち直しの動きがみられることから、当社グループが提供する不動産画像に対する需要は回復してきております。さらに非対面での営業ツールとして、VR技術を用いたバーチャルショッップの開発・制作を行い、事業規模を拡大しております。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社（AZOOM VIETNAM INC. 及びCGWORKS VIETNAM INC.）でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,265,355千円（前年同期比26.4%増）、営業利益は2,151,211千円（前年同期比26.6%増）、経常利益は2,144,169千円（前年同期比26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,529,605千円（前年同期比26.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休資産活用事業

遊休資産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やITを活用した業務効率化の推進に努め、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は351,346件となり、当第3四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は42,432台、サブリース台数（稼働台数）は39,530台となりました。あわせて、株式会社鉄壁が提供する月極駐車場特化型の賃料保証サービスの契約件数も堅調に推移しております。また、顧客によるレンタルスペースの運営をサポートするWEB予約システム「スマート空間予約」に加え、貸し会議室・ホール運営特化型のWEB予約システム「スマート会議室Pro」を2026年4月にリリースし、カスタマイズ対応案件については、様々な業種の企業へ導入しております。そのほか、株式会社ダイバースは人材紹介の事業を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,062,666千円（前年同期比26.4%増）、セグメント利益は2,129,128千円（前年同期比24.4%増）となりました。

② ビジュアライゼーション事業

ビジュアライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、販売するとともに、VR技術を用いて顧客の要望に応じた空間デザインのサービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めました。グラフィックデータ作成の発注元であるディスプレイ業者が、活況な民間投資やインバウンド需要の継続等を背景に、集客施設の新装や改装需要の増加、企業の販促投資等、市場環境は堅調に推移しており、受注件数は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は206,010千円（前年同期比26.1%増）、セグメント利益は24,575千円（前年同期はセグメント損失10,881千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,487,398千円となり、前連結会計年度末に比べて878,388千円減少しております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益が発生したものの、配当金の支払及び税金の納付等に伴い現金及び預金が1,066,144千円減少したことによるものであります。固定資産は2,033,476千円となり、前連結会計年度末に比べて529,712千円増加しております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて355,641千円減少し、8,538,671千円となっております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,711,553千円となり、前連結会計年度末に比べて71,402千円増加しております。その主な要因は、稼働台数及び株式会社鉄壁の賃料保証委託契約の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの前受収益が86,090千円、契約負債が133,920千円増加したものの、法人税等の中間納付に伴い未払法人税等が182,949千円減少したことによるものであります。固定負債は508,106千円となり、前連結会計年度末に比べて85,169千円増加しております。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて156,572千円増加し、2,219,659千円となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,319,011千円となり、前連結会計年度末に比べて512,214千円減少しております。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,077,976千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,529,605千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は73.9%（前連結会計年度末は76.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2025年11月13日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,737,103	4,670,959
売掛金	218,374	211,890
仕掛品	2,852	24,561
販売用不動産	345,272	329,316
前払費用	999,480	1,181,470
その他	75,870	82,398
貸倒引当金	△13,167	△13,196
流動資産合計	7,365,787	6,487,398
固定資産		
有形固定資産	118,581	242,483
無形固定資産		
のれん	31,483	25,580
ソフトウェア	181,204	235,771
ソフトウェア仮勘定	326,944	456,928
無形固定資産合計	539,631	718,280
投資その他の資産		
差入保証金	342,286	413,721
その他	526,859	673,125
貸倒引当金	△23,595	△14,134
投資その他の資産合計	845,550	1,072,712
固定資産合計	1,503,763	2,033,476
繰延資産		
株式交付費	24,762	17,796
繰延資産合計	24,762	17,796
資産合計	8,894,313	8,538,671
負債の部		
流動負債		
未払金	136,280	205,886
未払法人税等	482,942	299,992
前受収益	418,969	505,059
契約負債	151,973	285,894
賞与引当金	82,744	49,931
1年内返済予定の長期借入金	30,060	35,641
その他	337,181	329,148
流動負債合計	1,640,151	1,711,553
固定負債		
長期借入金	42,356	38,744
預り保証金	300,868	366,573
退職給付に係る負債	20,913	24,559
資産除去債務	58,797	78,229
固定負債合計	422,936	508,106
負債合計	2,063,087	2,219,659

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,233	316,626
資本剰余金	1,788,753	1,805,147
利益剰余金	4,728,219	4,179,847
自己株式	△172	△344
株主資本合計	6,817,033	6,301,277
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,392	11,441
その他の包括利益累計額合計	2,392	11,441
新株予約権	7,740	-
非支配株主持分	4,059	6,293
純資産合計	6,831,225	6,319,011
負債純資産合計	8,894,313	8,538,671

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	9,706,082	12,265,355
売上原価	5,684,922	7,222,833
売上総利益	4,021,160	5,042,522
販売費及び一般管理費	2,322,474	2,891,311
営業利益	1,698,686	2,151,211
営業外収益		
受取利息	1,659	6,069
その他	—	43
営業外収益合計	1,659	6,112
営業外費用		
支払利息	767	894
為替差損	653	5,093
株式交付費償却	775	6,966
上場関連費用	5,204	—
その他	124	199
営業外費用合計	7,526	13,154
経常利益	1,692,819	2,144,169
特別損失		
固定資産除却損	—	17,705
特別損失合計	—	17,705
税金等調整前四半期純利益	1,692,819	2,126,463
法人税、住民税及び事業税	492,541	655,043
法人税等調整額	△3,528	△60,209
法人税等合計	489,012	594,833
四半期純利益	1,203,807	1,531,629
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,052	2,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,205,859	1,529,605

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	1,203,807	1,531,629
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,858	9,048
その他の包括利益合計	△4,858	9,048
四半期包括利益	1,198,948	1,540,678
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,201,000	1,538,653
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,052	2,024

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結財務諸表計上額（注）2
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,542,662	163,420	9,706,082	—	9,706,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,922	—	3,922	△3,922	—
計	9,546,585	163,420	9,710,005	△3,922	9,706,082
セグメント利益又は損失（△）	1,710,980	△10,881	1,700,099	△1,413	1,698,686

（注）1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結財務諸表計上額（注）2
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,059,345	206,010	12,265,355	—	12,265,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,320	—	3,320	△3,320	—
計	12,062,666	206,010	12,268,676	△3,320	12,265,355
セグメント利益	2,129,128	24,575	2,153,703	△2,492	2,151,211

（注）1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	125,532 千円	128,417 千円
のれんの償却額	5,903	5,903